

会 議 録

会議名	平成24年度第3回文化財保護審議会	
事務局	生涯学習課	
開催日時	平成24年11月14日(水) 午前10時から11時40分	
開催場所	文化財センター学習室	
出席者	委員	(出席) 田中・二宮・福島・松平・孤島各委員 (欠席) なし
	事務局	天野課長・伊藤
傍聴の可否	◎可・不可・一部可	
	傍聴者：なし	
不可の理由		
(要点筆記)		
会 議 次 第		
報 告		
(1) 文化財保護強調週間(東京文化財ウィーク)関連事業について		
①文化財センター企画展		
「地図と写真で見る昭和の小金井」 11月3日(土)～12月24日(祝)		
②文化財講演会		
「地図で見る小金井の今昔」11月10日(土) 講師：今尾恵介さん		
③史跡めぐり		
「貫井地域をめぐる」11月24日(土) 案内：事務局		
(2) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について		
(3) その他		
田中家墓地の塚について(資料1)		
議 題		
(1) 市指定有形文化財閻魔堂木造閻魔王坐像付諸像具について(資料2)		
(2) 谷口家住宅の登録申請について(資料3)		
(3) 説明板の設置(陣屋道)について(資料4)		
[配布資料]		
資料1 田中家墓地の塚 写真		
資料2 市指定有形文化財閻魔堂木造閻魔王坐像付諸像具 写真		
資料3 谷口家住宅 写真		
資料4 説明板「陣屋道」新旧文案		

## 会 議 結 果

(要点筆記)

### 開会

(田中会長)

これより第3回文化財保護審議会を開会します。事務局から報告をお願いします。

(生涯学習課長)

9月1日付けで生涯学習課長(文化財係長兼務)に就任しました。よろしくお願いいたします。

### 報 告

(事務局)

報告1 文化財保護強調週間(東京文化財ウィーク)関連事業について。

①本年度の文化財センター企画展は、「地図と写真でたどる昭和の小金井」。期間は11月3日(土)～12月24日(祝)まで開催しています。展示企画は、学芸員の多田が担当しました。昭和年代の小金井の全図により、村から町、町から市への変化を示し、市内各地の古い写真を地図と組み合わせて展示しています。

②文化財講演会のテーマは、「地図で見る小金井の今昔」で、11月10日(土)の午後2時～4時に開催しました。講師は、地図研究家の今尾恵介さんで、38名の参加者があり、大変好評な講演会でした。

③史跡めぐりは、11月24日(土)の午前9時から12時まで、「貫井地域をめぐる」をテーマに、滄浪泉園から閻魔堂まで歩きます。参加申込者は32名で、案内は事務局で行います。

(生涯学習課長)

報告第2 玉川上水・小金井桜整備活用事業について

22年度から新小金井橋から関野橋までのモデル整備事業を行ってきましたが、今年度、最後の区間約250mの整備を予定しています。10月14日に住民説明会を実施し、10月16日に今年度補植場所を水道局・教育庁・小金井市・市民団体が立ち会って決めました。11月下旬から水道局が樹木の伐採を始め、来年の2月上旬にヤマザクラの苗木25本を補植する予定です。

報告3 田中家墓地の塚について

(事務局)

前回の委員会で視察した田中家墓地の塚の上に繁っていたシラカシの大木が8月に伐採され、塚の形が露わになりました。高さ約2m、直径7～8mの円形の塚と思われます。墓地の拡張によって、四分の一程度が崩されており、この時、板碑が出土したと聞いています。塚の年代や構造を知るためにも、測量や発掘調

査が必要と考えますが、管理者の承諾を得る必要があります。報告は以上です。

(田中会長)

報告に対して質問、意見はありますか。

(福島委員)

玉川上水の整備について、昨年、現地を見た時、外来種であるトウネヅミモチが残されていましたが、トウネヅミモチは、都環境局では駆除する方針を示しており、トウネヅミモチについて水道局はどう考えているのでしょうか。

(事務局)

トウネヅミモチについては、昨年、学識者の意見として伝えていますが、処理はされていない状況です。今年度も伐採後、現地を見ていただき、ご意見を頂き。再度、水道局に伝えたいと考えています。

## 議 題

(田中会長) 以上の報告に対し、他に意見がなければ、議題に進みます。

議題1 市指定有形文化財閻魔堂木造閻魔王坐像付諸像具について(資料2)

(事務局)

閻魔王坐像については、地元の管理団体から、修理できないかとの相談があり、前回の審議会の視察で見えていただいた。9月に5日に閻魔王他の写真を撮影したので、パワーポイントで説明します。像の裏に番号が書かれていたので、十王名と対応させてみたところ、十番目の五道転輪王が欠落しているものと思われます。5番目の閻魔王が最も大きく、保存状態も良く、冠の上部は、煤や埃で色彩が見られませんが、体部は赤漆で、よく磨かれています。裾の部分に虫喰いが見られますが、指定時(昭和52年)とあまり変化がないものと思われます。それに対し、他の小像は手首が無く、首が無いものも一体あり、表面の痛みも著しい状態です。事務局としては、どの程度修理が必要かどうか判断しかねています。

(田中委員)

閻魔堂の建物も文化財なのでしょうか。

(事務局)

文化財に指定されているのは、閻魔王坐像と他の十王(一体欠)と付属の諸像・仏具だけです。指定理由書は別添のとおりです。「閻魔堂は、旧貫井村の墓堂であり、そこに閻魔王を中心とする十王像(一体欠)、諸像具が一括遺存することは当時の民俗資料をものがたるうえで貴重である。」ということで、当時市の重宝に指定されたものです。閻魔堂は、昭和38年に、古いお堂を現在の民家住宅に建て替えられたもので、文化財には指定されていません。元文化財専門委員から、閻魔堂に相応しい、耐火性のお堂に建て替えるべきとの意見が出されています。また地元で聞いた話ですが、今でも念仏供養の行事(10月23日)が続けられているとのことです。なお、5月に貫井南町の真明寺の本尊を見せていただく機会があり、写真を撮ってきました。江戸時代に造られたと思われる大日如来、不動明王

像・弁天像がありました。市内の寺院の仏像等については、これまで専門家による調査が行われていません。

(松平委員)

閻魔王像の修理が必要かどうかは、今後、調査を含め、専門家の意見を聞き、判断すべきと考えます。制作年代といわれる天保6年は、全国的に大飢饉があった年でもあり、時代背景と関係があるかもしれません。

(田中委員長)

現在も念仏講が残っていることは、重要なことではないでしょうか。民俗行事を含めて調査し、記録を残していただきたい。

## 議題2 谷口家住宅について

(事務局)

谷口家住宅は、昭和6年(1931)頃に建てられた二階建ての民家で、所有者から、市の文化財として登録して欲しいと申請があったものです。視察で、内部まで見ていただいたので、ご意見をいただきたい。

(田中委員長)

現在、住居として使っており、昭和初年の建築ではまだ新しく、古民家と言えるのですか。

(事務局)

東京都の近代和風建築調査(平成18~20年度)では、築50年以前の建物を調査の対象としており、谷口家住宅も文化財候補として調査報告書に掲載されています。国の登録建築物も住宅等の使用を規制していません。市内には、近代(戦前)の民家建築が少なく、貴重なものだと考えています。

(福島委員) 建物だけでなく、周囲の樹木や湧水地を含めた景観が大事ではないかと考えます。また、文化財に登録したい理由を所有者に確かめる必要があるのではないのでしょうか。

(松平委員)

湧水を含めた全体が貴重なものだと感じました。建物については、建築の専門家に調査してもらう必要あると考えます。

(事務局)

申請者に登録を希望される理由(真意)について確認することにします。緑地保全地域指定の関係でも、関係課に経緯を聞くことにします。

## 議題3 説明板「陣屋道」の設置について(資料4)

(事務局)

平成元年に設置した「陣屋道」の説明板(本町2-2)が、経年変化によって文字がかすれ、支柱が曲がっているため、立て直す必要があると判断しました。新たな説明板の文案を読み上げますので、ご意見をいただきたい。

(田中会長)

新しい文案は、旧説明板(225字)に比べ文字数が多い(272文字)が、説明板の文字数には決まりがあるのですか。

(事務局)

説明板の文字数は特に決まりがありません。図が入らない場合は、説明が必要のために文字数が多くなります。

(田中会長)

後段の陣屋道の位置関係を前段に移した方が分かりやすいのでは。また、川崎平右衛門の説明は必要ですか。

(孤島委員)

陣屋と川崎平右衛門は関係が深いので、記述する必要があるのではないのでしょうか。

(事務局)

関野町の陣屋跡にも説明板を設置していましたが、宅地開発により、一時撤去しています。また、玉川上水の陣屋橋にも説明板を設置しています。

(田中会長)

陣屋跡の説明板を復活させる必要があるのではないのでしょうか。

(事務局)

文案については、本日のご意見を参考にして再度成文します。また、陣屋跡の説明板については、来年度、再設置を考えることにします。

次回の会議日程について

平成25年2月13日(水)10:00から

閉会

(田中会長)

以上で、平成24年年度第3回文化財保護審議会を閉会します。

以上